

第34回全九州スキー技術選手権大会開催要項

【主 催】	S. A. J 九州地区協議会	
【後 援】	S. A. J 全九州スキー指導員会	
【主 管】	S. A. J. 九州地区協議会教育部会	
【会 期】	2026年1月25日（日）	
【会 場】	宮崎県 五ヶ瀬スキー場（パラダイスコース）	
【日 程】	1月25日（日）	07:30～07:50 受付（パーキングセンター内） 08:00～ 登行リフト搭乗 08:30～08:45 開会式（スキーセンター前広場） 08:50～09:10 試走（各自1本） 09:20～09:50 ペア戦 09:50～10:00 チャレンジ技術選 10:00～12:30 個人戦 12:30～12:40 コース整備 12:40 コース開放 15:00～ 閉会式・成績発表 (下部リフト乗り場前駐車場)

- 【競技種目】
- 1 ペア戦（クラブ対抗・1チーム2名）
 - (1) 総合斜面・大回り (2) 総合斜面・小回り
 - 2 個人戦（男子、女子、シニア）
 - (1) 総合斜面・大回り (2) 総合斜面・総合滑降
 - (3) 総合斜面・小回り
 - 3 チャレンジ技術選（年齢・性別は問わない）
総合斜面・フリー

- 【参加資格】
- 1 個人戦（男子、女子、シニア）
 - (1) 九州各連盟を通じて当該年度のSAJ会員登録を行なっている者
 - (2) 「SAJスキー補償制度」及び、スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険に加入済みの者
 - (3) 中学生を除く満15歳以上で1級以上の認定を受けた者
(但し18歳未満の者は保護者の承諾を得た者)
 - (4) (1)以外の者で(2)及び(3)を満たし、尚且つ表彰の対象から除外されることを認める者。（オープン参加とする）
 - (5) シニアにあっては55歳以上の男女
 - 2 ペア戦
 - 個人戦資格(1)(2)(3)に該当する者
 - 同一クラブで編成する
 - 表彰の対象から除外されることを認めたチームは、(2)項を免除する
(オープン参加とする)
 - 3 チャレンジ技術選

- (1) 斜面を安全に滑走できる (S A J 2級程度以上) 者
- (2) 競技時における傷害に対し自己責任で対処できる者 (18歳未満の者は保護者の承諾を受け、保護者が申し込む)
- (3) 滑走後は現地解散とする
- (4) リフト料金は選手料金を適用しない (個人で購入のこと)

【順位の決定】 1 ペア戦・個人戦

- (1) 各種目の採点は5審3採用とする
- (2) 総合成績の順位は、全種目の合計得点により決定する
- (3) 同点の場合、同位とする
※ペア戦は女子5点、シニア5点の加点を行う (女子のシニアは5点を加点する)
- 2 チャレンジ技術選
採点は行うが順位はつけない

【表彰】 総合成績により、ペア、男子、女子、シニア共に3位までを表彰する
チャレンジ技術選の表彰は行わない

【申込方法】 参加者及び参加団体は所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、参加料振込みのコピーを添え郵送又はメールにて申し込むこと (FAXは禁ずる)
チャレンジ技術選希望者の中で、18歳未満の者は郵送とする。
(保護者の同意を得る為)
(可能な限り連絡先にメールアドレスを記入のこと。ペア戦の場合は必須)

【申込み先】 大分県スキー連盟 教育部 部長 安野豊治
メールアドレス t-tasuno@lapis.plala.or.jp
〒870-0162 大分県大分市明野高尾3丁目12-6

【申込締切】 2025年12月26日(金)必着

【参加料】 ペア戦: 4,000円、個人戦: 4,500円、チャレンジ技術選: 1,000円
(ペア戦は2名1チームで4,000円とする)

【振込先】 大分県スキー連盟 教育部 部長 安野豊治 (ヤスノ トヨハル)
大分銀行 (0183) 明野支店 (060) 普通 7633376

【その他】

- 1 積雪の状況により、競技の中止若しくは種目の変更をすることがある
- 2 使用する用具用品については、努めて SAJ 公認のものを使用する
- 3 中止の場合は参加料の半額を返却する
- 4 競技選手のリフト料金は、受付時に徴収する
(シーズン券保有者は除くため事前申告のこと)
- 5 記入頂いた個人情報については、本競技会以外の目的には使用しません
(大会のリザルトは各県のHPへ掲載します)

【問合せ先】 SAJ 九州地区協議会教育部 敷地慎一 (熊本県) ※メールを使用してください。
chiki2y@yahoo.co.jp 090-9604-7618

第 34 回全九州スキー技術選手権大会申込書（個人戦）

入金確認

大会参加に際しましては、損害事故の防止に充分な注意を払うとともに、私が原因で発生した事故に對しましては自己責任において処理することを認め、参加を申請します。

大会のリザルトは各県のHPへ掲載します。

ふりがな	性 別		西暦 年 月 日 歳 (大会日現在)
氏 名	男・女	生年月日 年齢	
所属県連	所 属 ク ラ ブ 名		
資 格	2 級・1 級・テク・クラ・準指・正指 その他	S A J 会員 N O	
エントリークラス		男子 ・ 女子 ・ シニア ・ チャレンジ	
住 所	〒		
連 絡 先	携 帯 電 話		
M A I L			
緊急時の連絡先			
氏 名 (間柄)		連 絡 先	
参加料 振込日	月 日 (他の参加者及びペア戦と合算した場合は詳細を記載したものを添付)		
承 諾 欄	18 歳未満の参加者		
	参加資格について理解し承諾します。		
保護者名			印
出場回数	回目	過去の成績	第 回 位

五ヶ瀬ハイランドスキー場のシーズン券

あり ・ なし

第34回全九州スキー技術選手権大会申込書 (ペア戦)

入金確認

大会参加に際しましては、損害事故の防止に充分な注意を払うとともに、私が原因で発生した事故に對しましては自己責任において処理することを認め、参加を申請します。

大会のリザルトは各県のHPへ掲載します。

ふりがな					
代表者氏名			所 属 県 連		
所属クラブ名					
代表者住所	〒				
連絡先		携 帯 電 話			
MAIL					
	ふりがな 氏 名	SAJ会員番号	性別	資 格	年 齢 (大会日現在)
1 規制			男・女		
2 大回り			男・女		
3 小回り			男・女		
参加料振込日	月 日 (他の参加者及びペア戦と合算した場合は詳細を記載したものを添付)				
承諾欄	18歳未満の参加者				
	参加資格について理解し承諾します。				
保護者名 (印)					
出 場 回 数	回目	過去の成績	第 回	位	

五ヶ瀬ハイランドスキー場のシーズン券 あり ・ なし

全九州スキー技術選手権大会競技規則

2025.10.4

- 1 採点方式は、各種目を100点満点とした減点法で採点し、最上位と最下位の得点を排した5審3採用制により有効得点を決定する。
- 2 競技者はスタート地点に集合し、スタート審判のコールに応答しなければならない。
- 3 競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に移動し、出発のための準備を行う。
出発はスタート係の合図により、速やかに出発する。出発しない場合は、当該種目は棄権とする。
- 4 演技はスタートライン（ポール間）からゴールライン（ポール間）通過までとし、ゴールライン通過後は安全確保のため努めて停止するものとする。
- 5 演技途中で競技を中止する場合は、ストックの×印等により伝達し、以後の指示を待つ。
- 6 ヘルメットの装着は義務とし、ワンピースの着用は禁ずる。
- 7 インスペクション及び試走並びに整備等でコートに進入する場合は、ビブを着用しなければならない。
- 8 使用する用具・用品については努めてS A J公認のものを使用する。
- 9 抗議については、ゴール後直ちに競技者本人がセクレタリー（又は審判長）に申し出る。
- 10 不測の事態によりスタートの遅延若しくは競技を中止する場合は、セクレタリー（又は審判長）に申し出る。
- 11 安全及び競技規則に反する、或いは競技者として相応しくない行為を認めた場合、競技を中止させる場合がある。
- 12 状況により、競技コート及び競技種目の変更を行う場合がある。
- 13 競技各種目は、設定された条件や状況に適合した回転弧、スピードで行う。
- 14 規定にない状況が生起した場合、技術代表及びセクレタリー並びに審判長の3者協議により決定する。
- 15 この競技規則の改正はS A J九州地区協議会教育部会の議決による。
- 16 転倒は大会主催者が定める減点基準により減点をする。

統制事項等

- 1 一般客との危害防止のため、コート外における滑走スピードには充分配慮し、周囲へ不安感を与えないよう着意すること。
競技コートまでの移動については、一般オープンまでの間、上部グレンデの整備を保つため、グレンデの脇を滑り、下部へ移動すること。（一般客の方々へ整備されたバーンを提供するため）
- 2 競技スケジュールは目安であり、競技進行には注意を払い、スタートに遅れることのないように。
- 3 安全確保等のために、競技途中で臨時にコート整備を行う場合がある。
- 4 コート整備には積極的に参加すること。
- 5 係員の指示には積極的に従い、円滑な競技会の進行に努めること。
- 6 用具、用品の安全確認は自己責任において確実に実施すること。
- 7 現地関係者の協力及び各関係機関の尽力の下に大会が開催されることを認識し、競技者として相応しい姿勢で大会に臨み、一般スキーヤーの規範となること。
- 8 登行リフト、競技時間中のリフト乗車は必ず ビブスを目視できるように着用する事
著しく規範を乱す行為があった選手については、失格を含めた処分を科す場合がある。